

年間授業計画

翔陽 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 家庭 科目 家庭基礎

教科 家庭 科 目： 家庭基礎 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 実教出版 新 家庭基礎 気づく力 築く未来 ）

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらにかかわる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域、社会の中から、問題点を見いだして課題を設定しその解決策を考え実践し、評価・改善し考察したことを表現するなど生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】家庭科の学びを通じて、よりよい社会の構築に向けて、さまざまな人々と協働して生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭、衣食住、消費や環境など生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらにかかわる技能を身につけるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。	さまざまな人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 これからの人生について考えてみよう 【知識及び技能】 ライフステージごとの特徴・課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の将来とこれからの社会について考えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 社会背景を踏まえて具体的に生涯にわたる生活設計を考える。	・指導事項 1節自分の未来予想図を描こう 2節これからの人生をデザインする ・教材 家庭基礎 気づく力 築く未来（実教出版）Life Design 資料+成分表+ICT（実教出版）	【知識・技能】 自分自身や将来についてのワークシートを作成し、自分や人の一生について考えをまとめることができる。 【思考・判断・表現】 自分の生活や将来について考えを深め、発表を通じて考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて意欲を持って取り組もうとしている。	○	○	○	2
2 自分らしい生き方と家族 【知識及び技能】 男女共同参画社会の実現を目指す歩みと社会的背景について理解しどのように青年期を生きるかを考えることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 変化する家族・家庭について学習し、現在の家族の抱える課題を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 法律は自分たち一人ひとりの認識にもとづく社会の要請を受けて検討、改正されていくことを理解する。	・指導事項 1節自立と共生 2節ライフキャリア 3節共に生きる家族 4節家族に関する法律 ・教材 家庭基礎 気づく力 築く未来（実教出版）Life Design 資料+成分表+ICT（実教出版） ・一人1台端末の活用 家族の抱える問題について調べ具体的なサポートのあり方について考える。	【知識・技能】 青年期の課題である自立や男女の平等と相互の協力などについて理解できる。 【思考・判断・表現】 家族・家庭に関する課題・問題点について社会的な制度、労働環境や雇用情勢などの背景も考慮しながら原因を推測し、解決を導くための考えをまとめ、討論を通して発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 家族、家庭生活に関する法律について関心を持ち、家庭生活と法律の関係について理解しようとしている。	○	○	○	3
3 子どもとかわる 【知識及び技能】 子どもの誕生、子どもの心身の発達と特徴、子どもは親など身近な大人とのかわりあいのなかで発達していくことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 親子関係の課題を理解し、解決に向けてできることを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 子育てのための国や地域の社会的支援について理解する。	・指導事項 1節子どもの発達 2節子どもの生活 3節子どもをはぐくむ 4節子どものための社会福祉 ・教材 家庭基礎 気づく力 築く未来（実教出版）Life Design 資料+成分表+ICT（実教出版）	【知識・技能】 子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 子どもの心身の発達、現在の子どもを取り巻く状況や子育ての環境について、課題を見つけ解決への考えをまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもを取り巻く状況について現状を知りその課題を見つけ、解決に向けて考えようとしている。	○	○	○	7
定期考査						0

1 学 期	4 高齢者とかかわる 【知識及び技能】 高齢者、高齢社会への理解を世界の動向からも深める。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢者の心身の変化による生活行動の不安に気づき、改善する。 【学びに向かう力、人間性等】 介護保険制度、介護をめぐる課題について理解する。	・指導事項 1節高齢社会に生きる 2節高齢者の自立を支える 3節高齢社会を支えるしくみ ・教材 家庭基礎 気づく力 築く未来（実教出版）Life Design 資料+成分表+ICT（実教出版） ・一人1台端末の活用 元気に活躍している高齢者を調べて発表する。	【知識・技能】 高齢社会の現状と課題について情報収集、調査・研究をし、課題解決に向けて考えをまとめることができる。 【思考・判断・表現】 高齢者へのインタビューなどで高齢者を知り高齢者とかかわることで高齢社会に関する課題を導き出すことができ、それをレポートで表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 高齢社会の現状、高齢者の心身の特徴や生活について積極的に知り、高齢者とかかわろうとしている。	○	○	○	8
	5 社会福祉 【知識及び技能】 社会保障制度や社会福祉の重要性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 社会保障制度のしくみを踏まえて将来の課題に向けての課題を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 支え、支えあう社会の大切さやボランティア活動を理解し、ボランティア活動に興味・関心が持てるようにし、実際の活動につなげる。	・指導事項 1節支えあって生きる 2節共生社会を生きる ・教材 家庭基礎 気づく力 築く未来（実教出版）Life Design 資料+成分表+ICT（実教出版） ・一人1台端末の活用 社会福祉先進国について調査し発表する	【知識・技能】 社会福祉の意味、現在の社会福祉の状況、社会保障制度のしくみについて理解できる。 【思考・判断・表現】 社会福祉や社会保障制度のしくみについて、現在の生活課題と関連させながら考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯を通しての社会福祉・社会保障や地域での支えあいのしくみについて意欲的に理解しようとしている。	○	○	○	2
	6 ホームプロジェクト、学校家庭クラブ活動 【知識及び技能】 ホームプロジェクト、学校家庭クラブ活動の取り組みの意義を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ホームプロジェクト、学校家庭クラブ活動の進め方を知る。 【学びに向かう力、人間性等】 生活を見直し解決することを検討し、解決方法を探って実践する。	・指導事項 1節ホームプロジェクトとは 2節学校家庭クラブ活動とは ・教材 家庭基礎 気づく力 築く未来（実教出版）Life Design 資料+成分表+ICT（実教出版） ・一人1台端末の活用 情報を収集する	【知識・技能】 家族の生活時間や衣食住など自分が関心あること、また生活から見えてくる課題を探すことができ、それに対する解決方法を考えることができる。 【思考・判断・表現】 自身の活動についてレポートにまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活の充実・向上に向けて行動を起こす。	○	○	○	3
	7 食生活をつくる 【知識及び技能】 家族の食生活の計画と管理や衛生と安全に配慮して調理することができるようになる。	・指導事項 1節私たちの食生活	【知識・技能】 栄養・食品・調理に関する知識を生かしながら献立を作成することができる。調理実習を通して調理技術を身につけ、献立作成から後片付けまでの流れを計画し実践できる。	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1

翔陽 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 家庭 科目 フードデザイン

教科 科： 家庭 科目： フードデザイン 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 教育図書 フードデザイン Food Changes LIFE ）

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 フードデザイン の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識を体系的に理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	食生活の現状から食生活全般に関する課題を見出し思考を深め、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	食生活に関する諸問題に関心をもち自ら学び、食育の推進に向けて、積極的に取り組もうとする態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・食することは生きるための意味合いだけでなく、さまざまな役割があることを理解するとともに、家族や仲間と共に食事する意義を知る。 ・食生活と生活習慣病の関係を理解し、どのような点に注意すればよいかを考える。	1 健康と食生活 ① 食事の意義と役割 ② 食を取り巻く現状	・食事の役割をふまえて、自らの食生活を正しく評価している。 ・生活習慣病の原因や症状を調べ、話し合ったり発表したりすることができている。 ・栄養素の摂取量や比率が変わることで、私たちにどのような影響があるか考察している。	○	○	○	4
	・日々の食生活から消化・吸収された栄養素が私たちのからだをつくっていることを理解する。 ・五大栄養素の代謝について理解する。 ・加工食品や健康食品などの食品について正しい知識を身に付ける。 ・食品の安全を守るためにさまざまな制度があることを理解している。	2 栄養素と食品 ① 栄養と消化・吸収 ② 各栄養素のはたらき ③ 食品とその特徴 ④ 何をどれだけ食べる？ 3 食品の選択と取り扱い ① 食品選択のコツ ② 食品の衛生と安全 ③ 食の安全を考えて選ぶ	・栄養素の種類と役割について、科学的に理解している。 ・健康食品の種類と気をつけるべき情報を収集、整理している。 ・からだの中で栄養素がどのような働きをするのかを考え、各ライフステージにおける食事の課題を発見し、その解決に向けて工夫している。 ・食品を選ぶ際に、安全や衛生に配慮して適切に判断している。	○	○	○	7
	定期考査						0
	・調理にはさまざまな機能があることを理解する。 ・調理器具の特徴としくみを理解し、正しく使用できるようにする。	4 献立と調理 ①なぜ調理するのか ・安全性の向上 ・栄養性の向上 ・おいしさの向上 ②調理操作と調理器具	・食べ物のおいしさに関わる要因について考察している。 ・調理操作が料理の出来上がりに与える影響を、具体的に考え、工夫している。	○	○	○	6
	・食事テーマを設定し、それに応じた献立を具体的に考える。 ・和風料理、洋風料理、中国料理、多国籍料理、行事食など、さまざまな献立に取り組み、調理技術を習得する。	③ 献立を立ててみよう ・献立の構成 ・献立作成の要素 ・献立を立てる ④ 調理実習 ・和風料理 ・洋風料理	・献立の構成や栄養、嗜好、費用、食品、調理法、季節感などの要素を理解している。 ・食事のテーマに応じた献立作成、食材の選択と調理、テーブルコーディネートと各料理のサービス方法について理解している。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

2 学 期	・和風料理、洋風料理、中国料理、 多国籍料理、行事食など、さまざま 献立に取り組み、調理技術を習得 する。	・中国料理 ・多国籍料理 ・行事食 ・SDGsを意識して調理を もっと楽しもう！	・衛生面と安全に配慮した食品の取り扱い と、調理操作を身に付けている。 ・環境に配慮した食材の選択や調理方法を考 え、工夫している。	○	○	○	6	
	・各様式別料理の特徴を理解する。 ・各様式の献立構成、食卓構成、作 法を理解する。 ・様式に適した献立作成や供応に伴 うマナーやサービスの技術を身に付 ける。	5 各国料理とコーディネート ①料理の様式 ・日本料理の様式 ・西洋料理の様式 ・中国料理の様式	・各様式別料理の特徴や献立構成について理 解している。 ・各様式別料理の作法に関する マナーやサー ビスを身に付けている。	○	○	○	5	
	定期考査						0	
	・テーブルコーディネートの基本を ふまえ、食事のテーマにふさわしい 食卓の整え方や環境作りの技術を身 に付ける。 ・各様式別料理のテーブルコーディ ネートの基本を理解し、実践できる ようにする。	②テーブルコーディネート ・テーブルコーディネートとは ・テーブルコーディネートを考え る手順 ・五感にうったえる要素 ・日本料理のコーディネート ・西洋料理のコーディネート ・中国料理のコーディネート	・目的に応じたテーブルコーディネートの技 術を身に付けている。・食べる人に配慮した 献立やサービスの方法について判断するこ とができる。・食事のテーマに応じた色彩や照 明、小物、食卓花など、食事空間の演出を判 断し、工夫している。 ・各様式別料理の献立や作法について興味を 持ち、具体的に取組もうとしている。	○	○	○	10	
3 学 期	・現代の食生活を見直すために食育 の大切さを理解する。 ・食育について、家庭・学校・地 域・企業それぞれの取り組みについ て知り、主体的に取り組むことがで きるようになる。 ・食は生活と密着したものであり、 地域やライフスタイルに合わせて多 様な文化を作り上げてきたことを知 る。・日本の食料自給率の現状と 問題点について理解する。	6 食育と食育推進活動 ①食育推進の取り組み ・食育基本法 ・食育の推進体制 ・家庭、学校、地域等における食 育の推進 ②食文化を見つめる ・食と文化のかかわり ・日本の食文化 ③食と環境について考えよう ・食品はどこから来るのか ・食品とごみ問題	・食育基本法、食育推進計画等の目的や概要 を理解している。 ・食と生活の関わりを、郷土料理や季節など を意識しながら考察している。 ・和食の特徴や食文化の伝承について考え、 課題を見出している。 ・食育を家庭、地域、企業はどのように推進 しようとしているかに意識、関心を持ち、主 体的に考えようとしている。	○	○	○	6	
	定期考査			○	○		1	
		個別指導			○	○	○	10
		個別指導			○	○	○	4
	定期考査						0	
							合計	
							70	